



わたしらしく。愛のある暮らし、アイシネン。

i-rashiku

Magazine for Quality of Life

02
2009年7月

特集「家族の肖像」②

田口さんご一家

明るく住み心地の良い一軒家に
家族みんなで暮らす喜び。



マロンのみんなで おうちごはん!

みんな揃っておうちで食べるごはんを、もっと楽しくもっと美味しく! そんな願いを叶えてくれるのが、フードスタイリストのマロンさん。今回の「i-rashiku」では、夏の素材を使った爽やかレシピをご紹介します。とびきりのお料理を作って、みんなの笑顔を見るのが大好き! というマロンさんならではの愛情たっぷりのお料理を、さあLet's cook!

Profile マロン
フードスタイリスト、フライパンと深鍋、フタ等がセットになった「マロンポットパン」の調理器具商品も開発。現在は、レストランのシェフでも、レシピを提供する料理研究家でもない、食のエンターテイナーを目指してダイナミックに躍進中。



夏色冷やしトマトめん

- 材料 (2人分)**
- ・トマト...3個 (湯むきをして1cm角切りにする)
 - ・バジルの葉...5枚 (手でちぎる)
 - ・めんつゆ (ストレートタイプ) ...3/4カップ
 - ・にんにくのすりおろし...少々
 - ・しょうゆ...大さじ1~1 + 1/2
 - ・レモン汁...大さじ1
 - ・砂糖...小さじ1~2
 - ・塩...少々
 - ・粗びき黒こしょう...少々
 - ・オリーブ油...大さじ2
 - ・ソーメン...150g
 - ・バジルの葉...適量
 - ・レモン...適量

- 作り方**
- 1 ボウルにAを混ぜ合わせ、トマト、バジルを加えて冷蔵庫に入れ、よく冷やす。
 - 2 ソーメンをゆで上げ流水で洗い、冷水にさらしてザルにあげ、手で押すようにして水気をよくきり、1に加えてよくあえる。
 - 3 器に盛りつけて、バジルの葉を添え、好みでこしょうをふる。レモンを添える。

マロンのワンポイント★マジック!
清涼感のあるバジルを添えて、よく冷えた器に盛りつけてね。他にも、カバリーニやうどん、そばでも美味しいですよ!




Maron

**i-rashiku「家族の肖像」
プレミアムキャンペーン!**

プロのカメラマンがあなたの家族写真を撮影。素敵なフォトフレームに入れてプレゼント!

【送り先】
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿3-36-12
「i-rashiku」編集部内「家族の肖像」応募係

【応募締め切り】
10月00日(〇) ※当日消印有効

※ご募多数の場合は、抽選のうえ当選者を決定いたします。なお、応募結果の発表は連絡をもって代えさせていただきます。ご応募いただいた個人情報は厳正に管理いたします。

「アイシネン」のことをもっと詳しく知りたい方は

<http://www.icynene.jp>

ICYNENE
アイシネン

編集/発行
キングダム・ハウエスト株式会社
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-9-3 KSビル8階
TEL:03-6427-7065
FAX:03-5833-7682

人にやさしい気密・断熱システム

●お問い合わせ

02 アイシネン ワンポイント講座

アイシネンなら 断熱と同時に気密も確保できます。

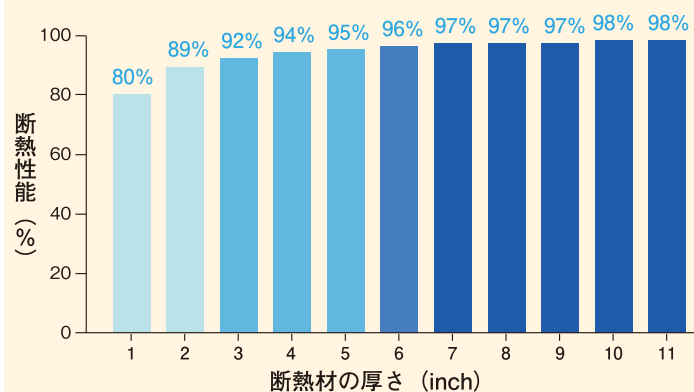
前号で、断熱材には「熱・雨水・水蒸気・空気をコントロールする」大事な機能があると述べました。今回はその第一の機能「熱をコントロールする」についてお話しします。今までの住宅では、漏気による熱の損失が30~40%にもなると言われ、欧米に比べて、日本の居室空間の温度（トイレ、浴室を含む）が非常に低いことが分かりました。健康への影響が指摘されており、断熱で温度差を少なくすることが重要です。さらに隙間風による温度差の対策も必要です。

断熱材は熱の移動を減らしたり 遅らせる機能を持つものです。

熱の移動は、伝導、輻射、空気や水蒸気によって起こります。ここでは伝導について説明します。伝導熱は、自然の法則で温度の高い方から低い方へと移動します。断熱材は「熱を100%カットする」と思われがちですが、いくら断熱材の厚みを確保しても100%カットは不可能です。断熱材とは「できるだけ熱の移動を少なくする、あるいは遅らせる機能を持つもの」なのです。

アイシネンの断熱効率

※温度差 4.5℃の時。表面空気膜の熱抵抗を加味。



グラフをご覧ください。約50mmの厚さで、約89%の熱の移動を抑えています。それ以上厚みを増やしても、比例的に断熱効率は増加しません。実は一般住宅では、90%程度断熱できれば、あとは気密をとり、漏気による熱の逃げを少なくする事が大切なのです。アイシネンなら、断熱と同時に気密も確保できます。どんなに厚いクーラーボックスでも、ふたが少しでも開いていれば、冷気がすぐに逃げて行くことはおわかりでしょう。気密の大切さをお忘れなく!



次回予告 次回は「雨水をコントロールする」についてお話しします。



私たちがお手伝いしました

【建物施工】
有限会社 永松建設
永松 隆介 様
熊本県玉名郡南関町肥猪 637 TEL: 0968-53-2348

もちろん施主様のご希望を叶えられるように設計をしますが、良いものがあれば、私は別のご提案もします。今回はアイシネンがそうでした。
「温様は当初土壁を希望されていましたが、私自身が夏の工事現場でアイシネンの良さを体感していたので、強くお勧めしました。コストは土壁よりも若干かかる程度でしたが、アイシネンだと現場もキレイですから、「土壁は壁だけです。アイシネンは基礎、壁、屋根まで吹き付けて入れられる。だまされたいと思って使ってください」と納得までしたほどです。結果、施主様ご一家にご満足いただけているようでうれしいですね。
今回も、心を込めて担当させていただきました。自信をもってお住まいいただける家になったと自負しています。

【アイシネン施工】
有限会社 生環システム
熊本市龍田 7-25-26 TEL: 096-339-5202



「温さんは「夏は涼しく冬は暖かい家」を作る伝統的な施工法である土壁の家を希望していたそうです。
しかし、施工を担当した永松建設の永松さんは、自身の体験から「アイシネン」を強く勧めたといいます。そこで、ヤヨイさんと照代さんが、アイシネンの見学会に出かけ、説明やVTRで納得してアイシネンの採用を決めました。玄関は複層ガラスにしなかった

「裸足が気持ちいい家」。心地よさはお墨付きです。
家の中心を成すリビングにはタモ材の囲炉裏が、台所横には珍しい地下ガマツ科の8人掛テーブルを仕立て、ヤヨイさんの希望通り家族全員が集まれるようになりました。毎晩、囲炉裏端で晩酌を楽しみ、家族の会話も増えたそうです。
今後、4人姉妹が結婚し、この家で同居することになったら、「別の住居にアイシネンを入れて住むことに決めています」と声を揃える一温さん夫婦。「喜寿を迎える年にこんないい家ができて本当にうれしい。住み心地が良くて大満足です」と笑顔で語るヤヨイさん。ご家族全員が満足する家が完成した喜びは、何にも代え難いようでした。



気温差も湿気にも無縁。
爽やかで快適な住まいが、ついに実現。

「家族の肖像」② 田口さんご一家

熊本県玉名郡

建物施工：有限会社 永松建設

明るく風通しの良い 住まいにしたい

田口さんご一家は、元中学校教員の田口穠一さん(83)とヤヨイさん(77)ご夫婦、息子さんと動物カメヲマンの一温さん(48)とフリーターの照代さん(46)ご夫婦、会社員の萌香さん(23)玲香さん(23)家事手伝いの心乃さん(21)学生の都登姫さん(19)の4人姉妹計8人の三世代家族です。

今回の建て替えに一番熱心だったのは、ヤヨイさんでした。戦後間もなく田口家に嫁いだころは家が小さかったため子供が生まれたり、来客が増えたりするたび、5~6回は増築を重ねたといいます。しかし、次々と部屋を継ぎ足していくイメージなので、行動線は長くなるばかり。家事をする身としては不便ですし、継ぎ足しなので暗く、風通しも悪いのが悩みでした。

そして25年ほど前に、一温さんと照代さんが結婚。はじめは同居だったのですが、心乃さんが生まれたころ手狭になりました。そして「これからは明るくて風通しの良い、使い心地の良い住まいで長生きしたい」との願いに着手したのは昨年のごとでした。

アイシネンで実現した 爽やかで静かな家

「ここは、朝晩は冷え込み昼間は暑い、寒暖の差が激しい土地です。そのため、一温さんは「夏は涼しく冬は暖かい家」を作る伝統的な施工法である土壁の家を希望していたそうです。
しかし、施工を担当した永松建設の永松さんは、自身の体験から「アイシネン」を強く勧めたといいます。そこで、ヤヨイさんと照代さんが、アイシネンの見学会に出かけ、説明やVTRで納得してアイシネンの採用を決めました。玄関は複層ガラスにしなかった

住みやすくて快適だから 家族の会話も増えてきた

この家は、ふんだんに使われた杉の木がとても印象的です。驚くことに、木材はすべて穠一さん所有の山の杉を使用したのだとか。一温さん曰く「裸足が気持ちいい家」。心地よさはお墨付きです。



「防音効果も実感されました。」
住み始めて約1ヶ月が経ちました。が、寒がりの穠一さんが、布団から手や足を出してもよく眠れるようになったのだとか。ヤヨイさんは「湿気の多い土地だけど、この家は爽やかです」と高気密性にも喜びました。一温さんも家の南北にパイプスや高速が通っているのに、外の音が気にならない」と、防音効果も実感されました。

こともあり、断熱効果を上げるため、普通は行わない仕切り壁に至るまでアイシネンを吹き付けたという徹底ぶりでした。
昨年の10月に棟上げ式を行い、念願の家造りが本格化しました。念入りに工事を進めたこともあり、引き渡しは今年の5月。杉の香りが漂う、風と光に満ちた素敵な家が完成しました。四方からは爽やかな風が吹き抜け、クーラー要らずの涼しさ。吹き抜けや各部屋からはたっぷりの採光で、電気代も節約できそうです。

壁の中から愛を叫ぶ、アイシネン。



アイシネン
人にやさしい気密・断熱システム